

國學院大學學術情報リポジトリ

在日クルド人児童における二言語教育の試み：
何もなくさない教育を目指して

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中村, 美奈海, Nakamura, Minami メールアドレス: 所属:
URL	https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/2524

論 文 要 旨

学籍番号	203220	氏 名	中村 美奈海
論文題目： 在日クルド人児童における二言語教育の試み —何もなくさない教育を目指して—			
<p>本研究は、在日クルド人児童の日本語能力及びトルコ語能力の測定と交換ノートを用いた二言語教育を実践し、在日クルド人児童における何もなくさない教育の提案を目指したものである。</p> <p>第1章では、在日クルド人の来日の背景や置かれた状況、子どもたちが抱えている問題についてまとめた。在日クルド人児童にとっては、日本語もトルコ語もなくしてはならないものであり、二言語の教育が喫緊の課題であることを指摘し、(1) 読み書き (2) 二言語教育 (3) 親の教育参加に焦点を当てた教育実践を試みた。</p> <p>第2章では、先行研究についてまとめた。在日クルド人に関する研究は管見の限り数が限られる。その理由としては、クルド人の抱える問題が複雑であることや言語の壁、人権問題への配慮等による調査の難しさが挙げられる。外国籍児童を対象とした研究では、言語環境や保護者の教育意識が児童の言語能力に影響を与えているとしている。読み書きに関する研究では、認知や思考を支える言語能力の発達にとって読み書きは重大な役割を持つとされており、早いうちから読み書きに慣れさせるべきだと指摘している。</p> <p>第3章では、本研究で実施した調査の概要を示した。調査は半構造化インタビュー、DLA (1回目)、教育実践、DLA (2回目)、フォローアップインタビューの順で行った。</p> <p>第4章では、調査結果と分析結果を示した。DLA「書く」のテストでは、両言語ともに文字数が少なく、表記ルールをほとんど理解していないことが明らかとなった。二言語の読み書き教育の試みとして、計10回の交換ノートのやり取りを行った結果、日本語では表記ルールの理解や漢字表記の増加などの変化がみられた。トルコ語では、アルファベットの小文字を習得し、大文字と小文字の使い分けが可能となり、表記ルールの理解にも繋がった。</p> <p>第5章では、テキストアナリシスを行い、交換ノートの記述における総語数、異語数、CTTR (語彙の豊富さを示す指標) を計算した。総語数は日本語の方が圧倒的に多い結果となったが、CTTRはトルコ語よりも小さい値であり、日本語の語彙力や表現力の乏しさが明らかとなった。</p> <p>第6章では、2回目のDLAテストとフォローアップインタビューの結果をまとめた。交換ノートのやり取りを通して、言語能力だけでなく学習や教育意識に変化がみられた。</p> <p>第7章では、課題と今後の展望をまとめた。今後は交換ノートを用いた読み書きの教育を就学前の子どもにも応用できるように調査を進めていき、より効果的な二言語教育の提案を目指したい。</p>			
キーワード 二言語教育・外国籍児童生徒・日本語教育・在日クルド人・交換ノート			